

## 令和6年度前期学校評価アンケート（保護者用）での、学校への意見や要望についての回答

多くのご意見・ご要望等をいただきありがとうございます。いただいたご意見等については、一部を要約して掲載しているものもあります。また、個別にお答えすべきと判断したご意見や、プライベートに関すること等の理由により、一部を省略または掲載を差し控えたご意見等もあります。ご了解いただくとともに、ご不明なことがありましたら学校へご連絡ください。

### 学習について

- 英語の授業も、数学同様、分からない生徒は少人数で教えていただければありがたいです。
- 学習に取り組む姿勢がみられない子が多い。小テストも再テストがあたり前である等、他の子の迷惑になる行為はやめてもらいたい。
- 中学に入る前の段階で基礎が備わっていないので、中学の学びを身につけるには随分とふり返りの学習が必要だと思います。家庭でのフォローがなかなか追いつかず申し訳ありません。

▲数学科については教員数に若干余裕があるため、少人数で指導する場を必要に応じて設けることがあります。一方、英語科を始めとする他の教科においては、教員数及び一人あたりの担当授業時数の関係から、少人数での指導の機会を設けるのは難しいというのが現状です。そのため、放課後や長期休業中に補習の時間を確保することで対応できればと考えています。

▲学習に対する姿勢については、今年度当初より「授業の心構え～一人一人の学力向上を目指して～」という10か条を前面に押し出し、学習規律の徹底に取り組んでいます。ただ、家庭学習が十分ではなかったり忘れ物が多かったりする生徒もいます。学習内容の補充が必要な生徒もいます。明らかに迷惑になる行為についてはその都度指導しますが、ともに学ぶことに重きを置いて、学習活動を充実させていきたいと思っています。

▲『学校評価アンケート（生徒）』で、「学校の授業がよく分かる」（90.8%）、「先生はわかりやすく丁寧な授業をしている」（98.6%）、「授業で分からないことについて先生に質問しやすい」（89.0%）と多くの生徒が回答しています。しかし、そう思わないと回答している生徒がいるのも事実です。落ち着いて学習に集中できる環境作りのためにも、授業研究をさらに推進して授業改善を図りたいと考えます。

▲授業で日常的に使用しているタブレット端末ですが、活用している「ベネッセ ミライシード」内の「ドリルパーク」に多数の問題や動画教材が搭載されており、いつでも自由に取り組むことができます。小学1年生から中学3年生まで対応しており、学び直しが可能となっていますので活用いただければと思います。

### 生徒指導について

- 生徒に注意する際、何人もの先生が言葉をかえて注意するようですが、何度も同じことを延々言われると毎回子供が家で話すのですが、大人からしてもかなりくどくしつこいなと感じます。あまりに何度も同じことを何人もの先生に言われると、「まだ」「はいはい」という感覚になってしまうと思うのですが。くどくど言うのも逆効果な時があると思います。

▲本校の生徒指導の重点として、「絶えず生徒との心のふれあいを通して、教師と生徒の温かい人間関係を深めることによって、一人ひとりの生徒の悩みや不安等を見つめながら、生徒が自らの力で解決できるように援助する」と明記し、そのような指導ができるよう努めています。しかし、生徒や保護者の皆様が上述のように感じているということは、まだまだ指導方法の見直しが必要であると考えます。生徒に注意するきっかけとなった事象によって指導内容に違いがあると思うので一概には言えませんが、教員同士の情報共有を密にし、効果的な指導ができるよう研究を進めてまいります。

## 部活動について

■部活動ですが、屋内外問わず危険な暑さが続きます。子供達の命を守る為の対策、判断を先生方よろしくお願いします。少しぐらいの練習なら大丈夫という暑さではありません。本当にお願いします。

■夏場の部活ですが、暑さ指数で中止になりますがそれは室内等の温度の目安でとは分かるのですが、体を動かしている生徒は暑さ指数に達するまでに体温が更に上がっているため、暑さ指数に達する前に超えている様に思うのですが？ 暑さ指数だけを見て判断しているのは親として心配なのですが？ 年々暑くなってきているため、その年その年で部活の中止等学校で判断してほしいです。

■部活動の朝練について、子供達は、大会が近くなると部活後、自主的に自主練もしている為、朝練が毎日になると疲れも出てくるので、大会当日だけでも良いと思います。

■大会前は体育館を使用すること優先させてあげてほしいです。(バスケ部)卓球部も使うそうですが、大会前のため体育館を使わせてほしいと先生に(卓球部の)話をしに行ったところ交換条件を言われたとのこと。卓球部も大会があるのは分かりますが1週遅いこともあるのでせめて大会前はバスケ部を優先させてあげてほしいです。交換条件を出す先生もどうかと思いますが。あと先生同士で話し合いしてほしいです。先生に言うと自分達で伝えてと言われたそうで... それもどうかと思います。

▲高温時の部活動については、「暑さ指数」(気温・湿度・輻射熱の3つを取り入れた温度の指標)を確認しながら実施の可否を判断しています。ただし、暑さ指数だけで実施の可否を判断しているわけではありません。活動時間中はこまめな水分補給と適切な休息を心がけるなど対策を行っていますが、生徒個々の健康状態、体調による暑さへの耐性に差があるため、少しでも普段と違う、しんどいと感じる場合は休ませる等の対応をしています。

▲大会前の朝練については、大会1週間前から、7時30分から8時15分まで活動が可能とし、部ごとに生徒と相談して実施しています。朝練は必ずしなければならないというわけではありませんし、朝練を実施しない部もあります。なお、自主練については、一日の部活動時間を2時間程度としている部活動運営指針に抵触する恐れがあるため推奨しませんし、疲れが出てくるのであれば自主練を止めていただきたいと考えます。

▲体育館の使用については、曜日によって割り振っていますが、諸事情から部同士の話し合いにより変更することはこれまでもありました。ちなみに、卓球部は火・木曜日の2日間使用することになっています。体育館での練習は貴重な機会であることから、3年生最後の大会に向けた生徒の強い思いは大会の1週間前でも、2週間前でもそれほど変わらないのではないのでしょうか。また、顧問が自分達で伝えてと言ったということですが、生徒自身が強い思いを直接伝える方が良いのではないかと考えたと聞いています。生徒の思いを尊重しながら、顧問間での話し合いも行いつつ、話し合いでよい方法を見つけれたらと思います。

## 登下校の安全について

■大雨の時、通学路が溝から溢れた濁流で危険な状態であるにもかかわらず通学させたのには疑問を感じます。

■先日の集中豪雨の時、玄関前の水の氾濫はかなりひどいものでした。運動場北側の溝からも水があふれ出し、通学できる状態ではありませんでしたが、学校からの連絡はなく、現場に行くことになり、かなりの危険を感じました。急なことではありましたが、子どもの安全を第一に考えるのであれば、早急な対応を考えていただきたいです。

■通学路で草が横から出ていて、よける時にあぶないことがありました。

▲今年度、生徒の登校時間にかかるタイミングで豪雨に見舞われることが3回ありました。いずれも排水が追いつかないため、生徒玄関南側の中庭が冠水しました。冠水時間は30分から1時間程度でした。冠水すること自体がまれであり、タイミングが悪かったという状態ですが、排水能力を高める処置ができるのかどうか教育委員会とともに確認していきたいと思います。

今回の豪雨の際、通学路の中には危険な状態になっていた場所があったかもしれませんが、教職員だけでは全てを把握できていません。学校では気象警報発令時の対応について定めていますが、登校時間帯は教職員の勤務時間外になるため、通学路の状態を事前に確認することは無理があります。したがって、生徒及び各家庭でご判断いただき、危険と思われる場合は登校を見合わせていただければと思います。生徒には身の安全を守ることを優先し、危険を感じた場合は無理をしないよう伝えます。また、豪雨時に危険だと思われる場所についての情報を親子でも確認いただくとともに、学校に知らせていただければ教育委員会や役場とも情報を共有するなどの対応を取りたいと考えます。

▲学校敷地内の樹木の剪定等は、学校で定期的に行っておりますが、不十分な部分があるかも知れません。気になる箇所があれば学校に連絡を頂ければと思います。

## その他のご意見等（一部）

■いじめのない学校・学級づくりとは何をされていますか。本人がいじめられていると感じるかどうかにいじめの判断をすると以前に聞きましたが、何度か子どもの言葉の中に、親が心配に感じるがありました。

▲いじめ防止対策推進法によると、いじめとは「～児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」とあります。いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうる問題と考え、いじめの未然防止のための取組を進めています。例えば道徳教育の充実、生徒会活動の活性化、人権意識の向上などです。いずれも特定の教科というわけではなく、教育活動全体を通じて行う必要があると考えています。ただ、教員側が気づけていない事案もあることと思います。保護者の皆様も情報を得た場合は、学校まで一報いただけますとありがたく思います。

■本年度はとても暑く体調を崩す子が続出しているが、授業中や部活においても対策はどのようにされているのか。

▲保健体育科以外の授業はすべてエアコンが設置されている部屋で行っています。保健体育科についても暑さ指数を参考にしながら、時には教室で保健分野の授業を行うといった対応を取っています。部活動ではこまめな水分補給と休息を心がけるとともに、ほてった体を冷やすための部屋を準備したりしています。ただ、体調不良を訴え保健室に来る生徒の中には、夜遅くまで起きていたり、朝食をあまり食べていなかったり、前日体調が悪かったりという者が多くいます。生徒には日頃の体調管理についても気に掛けるよう声かけをしています。

■他学年と比較されるとよく聞かれますが、それってどうなのでしょう？ 家庭でも兄弟でもそれぞれ違うのに学年で比べるのはどうなのか疑問です。できている子供からしたら比較されて嫌な気分ですよ。

▲他学年と比較することは意味がありませんし、不必要であると考えます。学校内では学力調査や運動能力調査などで他学年の平均と比較することはありますが、生徒に伝える必要はないと思います。他学年と比較するような発言が全体の場であったのだとすれば、残念で申し訳なく思います。大切なのは生徒一人一人の課題であり、足らない部分をいかに補うか、得意なことを更に伸ばすことのできる方策を考え、ともに成長できるよう生徒の意欲の喚起に力を入れたいと考えます。

■すべてにおいて、子供（生徒）と真正面から向き合い解決しようという先生（教師）側からの気持ち（誠意、熱意）が伝わってこない。

▲『学校評価アンケート（生徒）』で、教員が生徒と向き合う場面に関連する項目として「授業で分からないことについて先生に質問しやすい」（89.0%）、「先生はいじめやけんかなどで私が悩んだり困っているときに相談しやすい」（86.3%）と回答しています。多くの生徒は肯定的に思ってくれているのですが、否定的な思いでいる生徒も一定数いることが分かりました。個々の生徒の思いを受け止めたり、くみ取ったりすることが十分ではない可能性があると考えます。学級担任だけでなく、副担任や教科の授業のみで関わる教員も含めて、個々の生徒の様子について情報共有をしっかりと行うとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどに助けをもらいながら、生徒との関わりを強化できればと思います。また、学校だけでは気づきにくいこともあると思いますので、ご家庭で気になることがあるようでしたら、学校までお知らせいただければありがたく思います。

■「先生は必ずあいさつをしてくれる」ととても喜んでいます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、夏休み以降の学校改善に役立てたいと考えます。また、感謝や応援の言葉もいただきました。ありがとうございました。

九度山中学校 校長 阪中宣之